

「町会・マンション みんなで防災訓練」

防災訓練を通じた 町会・マンション 連携事例集



目次

Contents

地域でつながろう! もしものために できること

[事業の概要]

- 町会・自治会とマンションのつながりをつくる・・・1
現状と課題 互いに連携するメリットと共助例
- 令和6年度の取組と振り返り・・・・・・・・・・2
事業の流れ アンケート結果

[事業の流れ]

- 合同打合せ～事前レクチャー(防災講話)・・・3
概要 実施内容と成果
- 合同防災訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
概要 訓練内容 アンケート結果
- 振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
概要 次年度に向けた検討・議論

[事業の支援]

- 東京都の支援事業・・・・・・・・・・・・・・7
地域の底力発展事業助成 東京防災学習セミナー
東京とどまるマンション

[インタビュー]

- 東新小岩7丁目町会・・・・・・・・・・・・・・8
- 本郷弓一町会・・・・・・・・・・・・・・10
- 湊二丁目町会・・・・・・・・・・・・・・12

町会・自治会とマンションのつながりをつくる

町会・自治会とマンションがかかえる課題に対応するため
つながりをもつことがいざというときの助けになります。

現状と課題

	町会・自治会（一戸建て中心）	マンション
現状	<p>■在宅避難か避難所への避難を想定 水害、火災、倒壊、自宅に留まるリスクがある場合は、避難所への避難</p> <p>現状の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難所設営・運営訓練 ●備蓄倉庫、町会会館への非常食等の備蓄 ●行政窓口との連携 	<p>■安全性の確保を前提に在宅避難を想定 耐震基準を満たしたマンションの場合は、被害が軽微であれば、在宅避難が可能</p> <p>現状の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災設備の整備 ●防災倉庫への非常食等の備蓄 ●管理会社との連携
課題	<p>■浸水・火災等の災害や環境の悪化などにより、避難所が機能不全に陥る恐れがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浸水・火災等により避難所の機能不全 ●衛生環境の悪化 ●プライバシーの確保 など 	<p>■停電等により、在宅避難の継続に支障が生じる恐れがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エレベーター停止 ●トイレ機能停止 ●高層難民 ●長期滞在時の備蓄品不足 ●行政との連絡 など

各々では解決できない課題でも、「連携」により解決できる可能性があります。

互いに連携するメリットと共助例

	町会・自治会（一戸建て中心）	マンション
メリット	<p>■耐震性の高いマンションのスペースの共同利用 および、マンション居住者による人的支援など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水害時等の避難所の確保 ●集会施設等オープンスペースの利用 ●豊富な人材による人手サポート 	<p>■防災資機材や水、食料などの相互援助、および行政からの情報の共有など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●備蓄資機材の相互援助 ●町会・自治会が有するノウハウ等の情報 ●行政連絡窓口・地域団体のコネクション
共助例	<p>[1]急な災害（水害等）により、住居倒壊の危機がある住民に対して、マンションにて一時的な避難所を提供</p> <p>[2]災害後の戸建住宅の復興活動において、マンションから人材サポートを受けて、復興活動を促進</p>	<p>[1]停電によりエレベーターが停止し、上り下りができなくなった高齢者に対して、町会による水・食料等の提供</p> <p>[2]マンションでの在宅避難において、体調不良などがあった場合に、町会から行政等にサポートを要請</p>

町会・マンションそれぞれの強みを活かし、連携することにより、
地域の防災力を高めることができます。

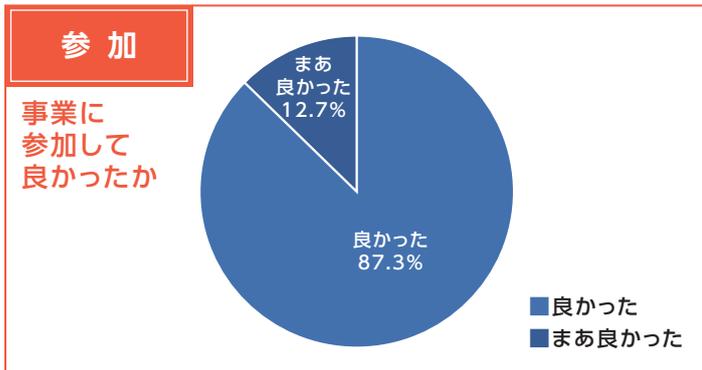
令和6年度の取組と振り返り

東京都では、合同防災訓練等を通じた町会・自治会とマンションのつながりの構築・強化を図るため、町会・自治会が近隣のマンション等と合同で開催する防災訓練の打合せから振り返りまでを支援しました。

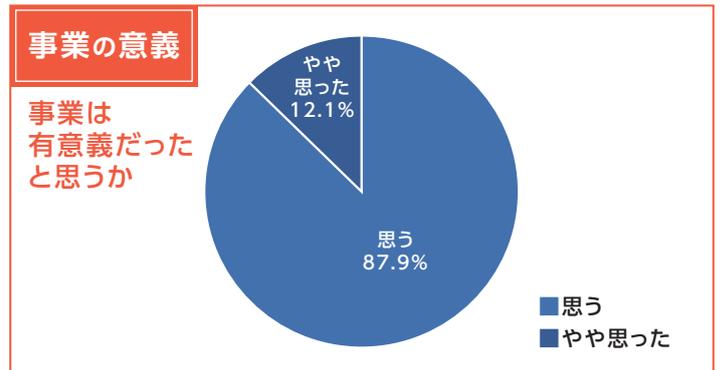
事業の流れ



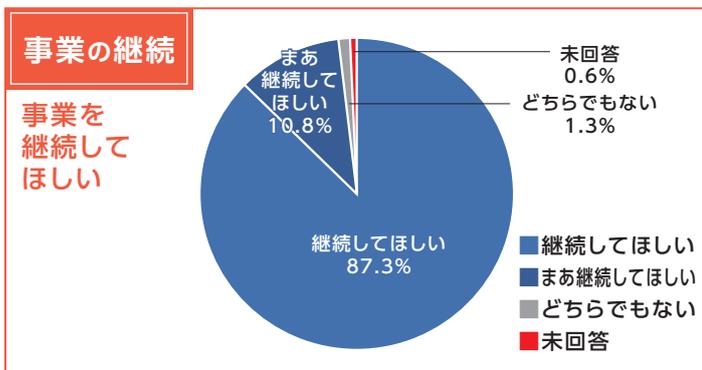
[アンケート結果] 多くの町会・自治会とマンションで、つながりの構築や強化に役立ちました。



良かったが100%となっている



意義があると思ったが100%となっている



継続してほしいが98.1%となっている



参加者の声

- 町会とマンションでグループLINEを作成し、情報共有や意見交換が活発になった
- マンションの人と顔見知りになり、街中で顔を合わせると挨拶するようになった
- 町会の備蓄品の保管場所を、マンションに相談することができた
- マンション管理組合で「防災会」組織の新設検討。町会との勉強会を実施することになった

合同打合せ～事前レクチャー（防災講話）

申請決定

合同打合せ

事前レクチャー
(防災講話)

合同防災訓練

振り返り

「合同打合せ」(2回) ※令和7年度から1回

■概要

町会・自治会とマンション等の顔合わせや防災訓練の企画・準備のために合同打合せを実施しました。第1回では、合同防災訓練の全体像の検討を行いました。第2回では、第1回で検討した合同防災訓練の内容を決定するとともに、町会とマンションのつながり構築方法について検討しました。

■実施内容と成果

第1回 合同打合せ

「防災訓練について検討」

- 実施日時と場所
- 訓練メニュー
- 告知チラシ、周知方法
- 関係部署との調整方針 など

第2回 合同打合せ

「防災訓練の決定」 「つながり構築方法の検討」

- 町会・マンションそれぞれの課題の抽出
- 共助による解決策の検討
- 防災訓練への落とし込み など



こんな意見がありました

- 町会とマンションがお互いの備蓄品や設備を知ること、災害時に相互利用ができるのではないかと
- 子どもが防災訓練に参加できるように、体験型のプログラムを実施したい

区市町村や消防署の協力も

防災訓練の実施は、区市町村や消防署の協力が不可欠です。事前に、計画等について相談することで、スムーズな訓練実施が可能になります。

「事前レクチャー（防災講話）」

■概要

防災訓練の前に、町会・自治会及びマンション双方の住民に対し、防災の備えや共助の重要性について、専属担当者がレクチャーを行いました。また、共同ワークとして「HUG」を実施し、町会とマンション住民のつながりづくりを促進しました。

■実施内容と成果

動画視聴

町会・自治会とマンションが
つながることの
必要性重要性に
ついて動画を視聴



防災講話

- マンションにおける共助
- 地域における共助
- 町会・自治会とマンションが
つながることの
意義・効果について

共同ワーク

町会・自治会とマンションが
混合のグループに分かれて、
避難所運営ゲーム(HUG)を実施。
積極的にコミュニケーション
をとりました。



参加者は

- 共同ワークを通じて、町会・自治会とマンションの参加者同士で活発な意見交換が行われました。
- 今後もこのような図上訓練を形を変えて継続して実施したい、との意見もありました。

避難所運営ゲーム(HUG)とは

避難者の状況が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に配置しながら、避難所運営を疑似体験するゲームです。



合同防災訓練

申請決定

合同打合せ

事前レクチャー
(防災講話)

合同防災訓練

振り返り

「合同防災訓練」

■概要

合同防災訓練は、町会・自治会とマンション管理組合等の住民が参加しました。町会・自治会や管理組合等の意見を聞き取り、多くの人に参加いただけるよう工夫をしました。訓練メニューは、町会・自治会及びマンションのつながり構築に有効であり、参加者にとって有意義な内容となるよう、必須訓練とその他訓練を組み合わせ実施しました。

訓練内容

- [必須訓練] 炊き出し訓練 AED訓練 携帯トイレの使い方 日常備蓄の方法
- [推奨訓練] 初期消火訓練 防災街歩き訓練
- [その他訓練] 起震車、煙体験ハウス、蹴破り訓練など(町会・自治会から希望があれば実施)



炊き出し訓練

アルファ化米を使用して、災害発生時にもどのように食べられる状態に戻すか、学びます。



携帯トイレの使い方

自宅のトイレや段ボールトイレを使った簡易トイレの使用法を学びます。



必須訓練



AED訓練

消防署と連携し、AEDの使用方法を実際に体験しながら学びます。



日常備蓄の方法

「防災備蓄ナビ」を活用して、備蓄品やローリングストックの方法について学びます。



■AED訓練、初期消火訓練、防災街歩き訓練、起震車訓練、煙体験ハウスなどは、区市町村や消防署の協力を得て実施しました。



初期消火訓練

消防署と連携し、消火器や
消防施設(スタンドパイプ)の使い方を学びます。



推奨訓練



防災街歩き訓練

災害発生時に危険となる場所や物、災害時の緊急避難所の
ほか、災害救助に役立つ施設や防災資源を発掘します。



こんな訓練も行いました



蹴破り訓練

マンションの
ベランダ仕切り板を
実際に蹴破り、
避難する方法を
学びます。



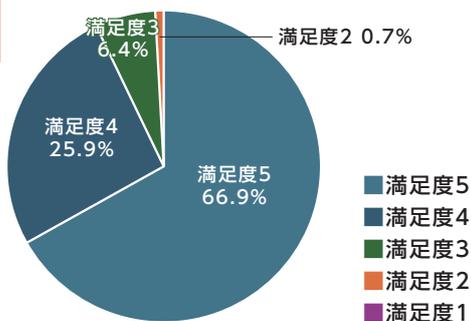
告知チラシを
作成してPR

訓練内容や
スケジュールを記載した
周知チラシを作成し、
参加を働きかけました。



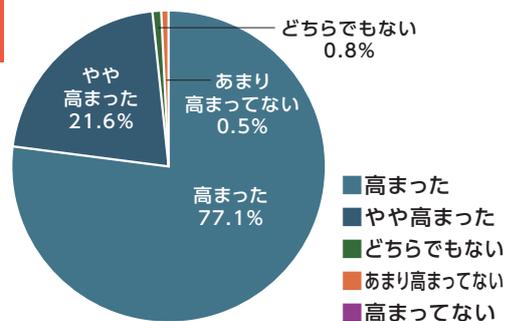
【アンケート結果】 双方の住民で、防災意識やつながることについて意識が高まりました。

満足度



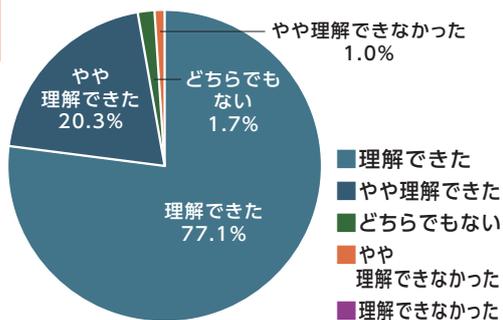
評価5~4で、92.8%の評価となっている

防災意識の
高まり



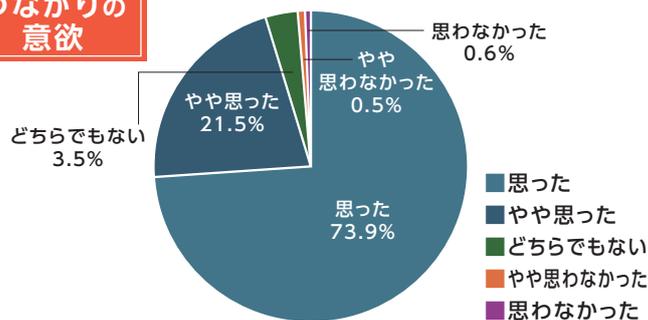
98.7%が防災意識が高まったとなっている

つながりの
理解



97.4%がつながりの必要性・重要性を理解している

つながりの
意欲



95.4%がつながりを持ちたいと思っている

参加者の声

- 住民同士の協力が大事だと感じた
- 今回だけでなく、継続していきたい

振り返り

申請決定

合同打合せ

事前レクチャー
(防災講話)

合同防災訓練

振り返り

「振り返り」

■概要

振り返りは、防災訓練の実施結果を踏まえ、町会・自治会とマンションがつながりを継続していくために何ができるか、具体的に話し合いました。

次年度に向けた検討・議論

振り返りでは、合同防災訓練の継続と、町会・自治会とマンションのつながり強化策について、活発に議論を行いました。

～次年度の合同防災訓練実施に向けて～

「もっと子どもを呼び込み、大人の参加者を増やしたい」など、今回の反省を活かして次年度も実施しようという意見がでました。また、初期消火訓練に向けてスタンドパイプの購入を決定するなど、具体的なアクションにつながった町会もありました。

[次年度訓練の具体案]

- 子どもが体験できる「起震車・はしご車・煙体験ハウス」など、大掛かりな訓練の実施
- マンションと協力した屋上訓練 ●水害訓練 など

[活動の認知拡大]

- 実施レポートを作成しマンション全戸へ配布 ●SNSを活用したPR など

～つながり強化の取組について～

防災訓練以外にも、町会・自治会とマンションでできる取組はないか、話し合いました。

[交流促進と連携強化]

- 町会・自治会とマンションで組織した夜回りパトロールの実施
- マンション管理組合内に「防災会」の新設を検討
- 定期的な集まりでの情報共有 ●地元名所を巡る合同街歩きの実施 など

東京都の支援事業

「町会・マンション みんなで防災訓練」でつくれたつながりを継続するための支援事業があります。

地域の底力発展事業助成

地域活動の担い手である町会・自治会の皆さんが行う地域の課題を解決するための取組を推進し、「地域力」の向上を図る事業に対して、助成を行っています。

対象

東京都内に所在する、区市町村において町会・自治会として登録・把握されている団体

申請期間 年4回

具体的なスケジュールは、HPをご覧ください。

問合せ先

地域の底力発展事業助成 電話相談窓口 TEL.03-5388-3166 東京都 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援担当

実施事業例

町会がマンション管理組合などの地域団体と連携して実施する防災訓練 など



詳しくはこちら

東京防災学習セミナー

大災害へ備えるには、一人一人が自らを守る「自助」だけではなく、住民で協力して地域を守る「共助」の意識も大切です。本セミナーでは、地域コミュニティの防災力向上を推進するため、防災専門家を派遣し、セミナーやグループワークを行います。

対象

都内の地域コミュニティ
(町会・自治会・自主防災組織・マンション管理組合など)

講義内容

様々なコースをご用意しておりますので、地域の課題やニーズに合わせて、コースをお選びください。

実施方式

対面方式、または動画配信・DVDレンタル方式

コース例

- **コンサルティングコース**
防災コンサルタントを最大2回派遣、地域防災のお悩み解決に向けたコンサルティングを実施
- **マンション防災コース**
自主防災組織・管理組合等の備え など



詳しくはこちら

東京とどまるマンション

防災マニュアルの策定や備蓄などに取り組むことにより、災害時でも自宅での生活を継続しやすいマンションの情報を登録、公表しています。

対象

都内にある分譲マンションの管理組合、賃貸マンションの所有者

注意事項

耐震性を有し、所定の防災の取組を行った、登録基準を満たす共同住宅が対象

問合せ先

公益財団法人
東京都防災・建築まちづくりセンター
TEL.03-5937-1173

支援制度

「東京とどまるマンション」に登録しているマンションを対象に、様々な補助や支援制度があります。

- 防災備蓄資器材の購入
- 非常用電源(蓄電池・発電機)の設置
- 非常用電源確保に係る浸水対策
- エレベーター閉じ込め防止対策(リスタート運転機能等)
- マンホールトイレの整備
- 太陽光発電設備・V2Xの設置
- 備蓄倉庫の導入
- 給排水管点検調査の専門家派遣



詳しくはこちら



葛飾区 東新小岩7丁目町会

連携先マンション

- ① コスモ新小岩Ⅱ管理組合
- ② ライオンズマンション新小岩第10管理組合

世帯数

【町会】1,040世帯【マンション】①23世帯、②37世帯

インタビュー：竹本会長、川島副会長

「マンションとのつながりのきっかけに」

【実施内容】

令和6年

- 12月22日(日) 第1回合同打合せ

令和7年

- 1月26日(日) 第2回合同打合せ
事前レクチャー
- 2月23日(日) 合同防災訓練
- 3月16日(日) 振り返り

【特徴】

町会：メディアによる取材を積極的に活用し、町会活動PRに力を入れている

地域：海拔ゼロメートル地帯。地域の防災意識は高い

1 申請したきっかけを教えてください。

葛飾区から、本事業の紹介がありました。町会として、マンションとのつながりを模索している中で、よいきっかけだと思い、申請しました。

毎年、町会で防災訓練を実施していますが、参加者が限定的です。広く参加してもらうためには、マンションとの連携が効果的だと考えました。

2 どのような訓練を実施しましたか？

8つの訓練を実施しました。「避難所生活の展示」は、葛飾区に展示品を準備していただきました。「日常備蓄の方法」や「携帯トイレの使い方」について反響が大きかったです。特に、トイレが大変だという意識が希薄でしたが、訓練でしっかりと意識してもらうことができよかったと思います。また、「可動式ポンプ訓練」を実施しましたが、参加者からは、「町会はこんな大変なことをやっているんだと実感した」などの声をいただき、深い理解につながったと思います。



可動式ポンプ

[合同防災訓練]

- 日 時：令和7年2月23日(日) 10:00～12:00
- 場 所：葛飾区立二上小学校
- 参加人数：町会66名、マンション34名
- 訓練内容：○炊き出し訓練、AED訓練、簡易トイレ
日常備蓄
○初期消火訓練、可動式ポンプの放水
○起震車体験、避難所生活の展示



起震車体験

3 マンションとの連携で 大きな課題はありましたか？

マンションからは「マンションに自治会があるので、なぜ町会に入らなくてはいけないのか」という声が多く聞こえました。

町会とマンションが密な関係性を持つためには、「町会で何ができるか」「マンションで何ができるか」を双方で考えることが大事だと考えています。

4 訓練を実施することでマンションと どのようなつながりができましたか？

当初、マンション役員の顔が分かりませんでした。が、本事業の実施により顔見知りになることができました。

5 今後に向けた改善点はありますか？

「外国人との関係づくり」を検討していきたいです。多言語対応を行うなど、みんなに町会に加入していただきたいと考えています。

また、災害時のペットについても考えていきたいです。町会内の獣医も巻き込んでいきたいです。空き家も多く、問題視しています。葛飾区とも連携していきたいです。

6 マンションとのつながりを強化して いくため、今後どのような取組を 行っていくですか？

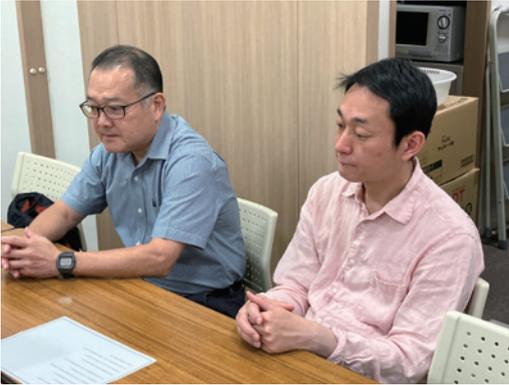
同じ地区に居住しているので、継続した関係性をつくっていききたい。マンションに対しては「町会で対応可能なこと」をPRしていきたいです。また、防災訓練だけでなく福祉や行事などでも一緒に検討するなど、複合的な関係性をつくっていききたいです。

～事業を振り返って～

町会がマンションと関係を深めるきっかけになったのは間違いありません。このチャンスを活かし、マンションとの関係を継続して深めていきたいです。



振り返り



文京区 本郷弓一町会

連携先マンション

- ① パークハウス楠郷臺管理組合
- ② プラウド本郷ヒルトップ管理組合

世帯数

【町会】1,500世帯【マンション】①58世帯、②90世帯

インタビュー：中山会長、岩田常任理事

「マンションが多く 戸建てが少ない地域の特性を活かして」

【実施内容】

令和6年

- 9月14日(土) 第1回合同打合せ
- 10月5日(土) 第2回合同打合せ
事前レクチャー
- 11月2日(土) 合同防災訓練
- 11月23日(土) 振り返り

【特徴】

町会：避難所運営協議会や防災関連事業など積極的に防災の取組を実施

地域：戸建てよりもマンションが多い。地主系のマンションが多く、新築マンションも増加

1 申請したきっかけを教えてください。

都の「東京防災学習セミナー」で防災講師派遣事業を活用した際、本事業の紹介があり、申請しました。

毎年、町会が実施している防災訓練の参加者が固定化していることもあって、マンションから新規参加者を獲得するために、申請しました。

2 どのような訓練を実施しましたか？

7つの訓練を実施しました。当町会は、マンションが非常に多く、訓練実施場所のスペースが限られてしまう問題がありました。

その中で、スペースを取らずに体験可能な「蹴破り体験」を実施しましたが、非常に実践的でよかったと思います。

また、街歩き訓練では、参加者同士が知っている道を歩くことで、コミュニケーションをとる機会が多くあり、効果的でした。



蹴破り訓練

[合同防災訓練]

- 日 時：令和6年11月2日(土) 13:00～15:00
- 場 所：町会会館、プラウド本郷ヒルトップ他
- 参加人数：町会5名、マンション7名
- 訓練内容：○炊き出し訓練、AED訓練、簡易トイレ
日常備蓄
○防災街歩き訓練(マンホール消火栓説明)
○蹴破り体験、
マンション内消火栓放水訓練



防災街歩き訓練

3 マンションとの連携で
大きな課題はありましたか？

地主の方がマンションを建てる場合もあり、古いお付き合いのあるマンションもある一方、新築のマンションも増えており、いかに町会に取り込めるかが課題でした。特に、賃貸マンションの方は地域とのつながりが希薄だと感じています。顔見知りではないマンションとの連携は非常に困難でした。

また、外国人が非常に増えてきました。小学生の1割が中国人で、日本語が話せません。言語問題も課題となっています。

4 訓練を実施することでマンションと
どのようなつながりができましたか？

合同打合せでの顔合わせがきっかけで、町会役員とマンション理事(合計9名)で、グループLINEをつくることができました。避難所運営協議会に参加した際の議事録や入手した情報を発信して、積極的に活用しています。

5 今後に向けた改善点はありますか？

今回は合同防災訓練を実施することが目的でしたが、次回は、グループLINEを上手に活用して、つながりを深めていきたいと考えています。また、当エリアはマンションが多く、戸建てが少ないため、この地域ならではの特性を活かして進めていきたいと考えています。

6 マンションとのつながりを強化して
いくため、今後どのような取組を
行っていくですか？

今後も次々と新築の大型マンションができており、より、マンションとのつながり創出が課題となっています。

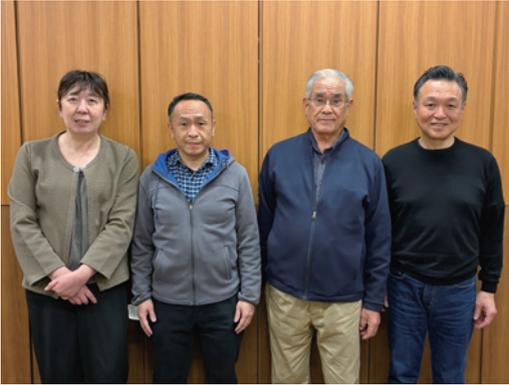
SNSや町会催事での声掛けを行うなどして、積極的なつながり構築を図っていきたいです。

～事業を振り返って～

事業を通じて、町会とマンションがつながるきっかけができたと思っています。より一層高めていくために、関係性を大事にしていきたいです。



振り返り



中央区 湊二丁目町会

連携先マンション

- ① パークシティ中央湊ザタワー管理組合
- ② パークシティ中央湊ザレジデンス管理組合
- ③ シティタワー銀座東

世帯数【町会】117世帯他集合住宅16

【マンション】①416世帯、②30世帯、③492世帯

インタビュー:和泉防災部長

「大規模マンションとのつながりづくり」

【実施内容】

令和6年

- 11月21日(木) 第1回合同打合せ
- 12月15日(日) 第2回合同打合せ
事前レクチャー

令和7年

- 1月19日(日) 合同防災訓練
- 2月12日(水) 振り返り

【特徴】

町会：お祭りや縁日など多くの催事を実施。大規模マンションと連携して、町会加入者を増やしていきたい

地域：高層マンションや大規模マンションが多い

1 申請したきっかけを教えてください。

湊二丁目町会内には世帯数の多いマンションがあります。町会で防災訓練などを活動を行う中で、このような大きなマンションと一緒に取り組みを行いたいと考え、申請しました。

2 どのような訓練を実施しましたか？

7つの訓練を実施しました。スタンドパイプの訓練は、消防署と協力して行いました。放水訓練は実践的で、非常によかったと思います。多くの親子連れにも参加いただき、よかったです。



スタンドパイプ訓練



防災街歩き

[合同防災訓練]

- 日 時：令和7年1月19日(日) 10:00～12:00
- 場 所：中央区立鉄砲洲児童公園
- 参加人数：町会13名、マンション64名
- 訓練内容：○炊き出し訓練、AED訓練、簡易トイレ
日常備蓄
○スタンドパイプ、防災街歩き訓練
(消火栓・マンホールトイレ確認)
○蹴破り体験



蹴破り訓練

3 マンションとの連携で 大きな課題はありましたか？

町会とマンションの関係性はある程度できています。ただ、町会活動への参加率が課題です。湊二丁目町会には約3,000人の住民がおり、町会加入をしてもらっていますが活動への参加や協力者が少ない状況です。また、マンションには防災担当がいるマンションといないマンションがあります。防災担当がいないマンションとの調整は難しいと思います。さらに、マンションから「町会費を払っているのにマンションに何もしてくれない」という意見もありました。町会で行っている行事の告知や広報が足りないと感じています。

4 訓練を実施することでマンションと どのようなつながりができましたか？

本事業をきっかけに、町会行事の告知ができたのではないかと思います。町会とマンションのつながるきっかけとしては、祭りや縁日が多いと思います。1つの行事を行うと、数人が町会へ加入してくれます。行事を継続して町会加入者を増やしていきたいと考えています。

5 今後に向けた改善点はありますか？

町会行事への参加者が固定化しているので、新たな方に参加していただきたいです。本事業を通じ、参加者同士が顔見知りの関係となり、つながりができるように進めていきたいです。

6 マンションとのつながりを強化して いくため、今後どのような取組を 行っていくですか？

日々の行事を通じて、マンションの住民とのつながりが持てるよう、努力していきたいです。町会活動の運営には、住まいの形態に関わらず、どなたでも気軽に参加できる環境づくりをしていきたいと思っています。

告知はSNSを強化していきたいです。5人の広報部で、YouTubeのチャンネルを運営しています。

～事業を振り返って～

新しいことは、誰かが「やりましょう」というきっかけがないと、なかなかできません。本事業のように、東京都が声をあげていただき、非常に良かったと思います。



振り返り



[お問い合わせ先]

東京都生活文化局 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援担当

住所：〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

メール：1161202@section.metro.tokyo.jp

事業の詳細はホームページをご覧ください

町会・マンションみんなで防災訓練



詳細はこちら



令和8年3月 東京都発行 (7) 47号

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

200

当紙は、ループ配合率90%再生紙を使用